

基本目標2 子育て世代に選ばれるまちづくり

(1) 結婚・妊娠期からの切れ目ない支援

施策	KPI		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)		
	指標名	当初値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成度(%) R2実績/目標値	当初値(H26)				R1実績	目標値(R1)	
23	乳幼児健診等未受診者全員へのフォローアップ	乳幼児の健康状態の把握率	-	100%	100%	100.0	けんこう課	令和2年度の乳幼児健診(3-4か月児健診, 1歳6か月児健診, 3歳児健診)の受診率は全体で98.8%であった。 健診未受診の場合は必ず地区担当保健師が電話や訪問で状況を確認し, 2回連続未受診であった場合は月に1回の会議において係内で対応を協議している。乳幼児の健康状態の全数把握を継続している。	乳幼児健診は子どもの健康状態の確認はもちろんのこと, 家庭での育児状況を確認し, 親子が健やかに過ごしているか確認したり, 虐待につながるリスクがないかを確認する場でもある。そのため, 未受診者に対する状況の確認は重要で, 今後も月1回の会議を継続し, 乳幼児の健康状態の全数把握を継続していく。			
24	ブックスタート事業	利用率	100%	100%	100%	100.0	大橋記念図書館	平成16年度より継続して実施していることから, 市民へも浸透しており利用率の高まりがみられる。	ブックスタートを一過性のもので終わらせないための図書館行事を充実していく。	95.7%	100%	100%

(2) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

施策	KPI		第2期の達成状況				担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)		
	指標名	当初値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成度(%) R2実績/目標値	当初値(H28)				R1実績	目標値(R1)	
25	さかいで子育て支援センター(まろっ子ひろば)の運営	地域子育て支援拠点事業利用者数(人/年)	9,646人	6,032人	9,700人	62.2	こども課	平成28年4月の子育て支援センターの開所以来, 認知度も徐々に高くなってきている。また, 平成29年度から開始した一時預かりの利用者数についても当初の想定を超え, 地域における子育て支援の拠点としての機能を果たすことができている。令和2年度においては, 地域子育て支援拠点事業について新型コロナウイルス感染症の影響により, 4月15日から5月31日まで休館したため, 利用者数が減少した。	今後においても, 引き続き検温等の新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ, 令和2年度から令和6年度までの「第2期坂出市子ども・子育て支援事業計画」に沿って, 地域子育て支援拠点事業等を民間等の子育て支援のノウハウを生かした指定管理による運営を行う。また, 利用者等からの意見や要望からニーズを把握し, できる限り運営に反映させ, 子育て支援の拠点として継続的な役割を果たしていく。	8,695人	10,606人	9,000人
26		一時預かり事業利用者数(人/年)	421人	423人	430人	98.4				-	430人	200人
27		利用者支援事業利用者数(人/年)	361人	574人	400人	143.5				378人	461人	400人

(3) 未来を拓く力をはぐくむ人づくり

施策	KPI		第2期の達成状況			担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)		
	指標名	当初値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成度(%) R2実績/目標値				当初値(H26)	R1実績	目標値(R1)
28	心をはぐくむ講師派遣事業	心をはぐくむ講師派遣事業の講演等への満足度	-	90%	85%	105.9	学校教育課	事業対象校は、予算に見合った講師の選択の難しさを感じている。また、どのような内容や方法が児童生徒の心に響くものとなるかということにも苦慮している。そのうえに新型コロナウイルス感染症のため事業実施時期についても影響が及んでいる。 児童生徒の豊かな心をはぐくむため、今後も常に情報収集に努め、事業に見合った講師の選択やワークショップなど体験的な活動を取り入れるなど内容や方法の工夫を図っていきたい。			
29	王越宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」の運営	利用者数(人/年) H29.4開設	3,636人	1,476件	4,000人	36.9	生涯学習課	平成29年度に開設した宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」は、利用団体等からの要望もあり、平成30年度に宿泊室へのエアコン設置を行い、利便性の向上を図った。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数の減となっている。 利用者の増加を図るため、王越地区の魅力ある資源やピザ窯等の設備を利用した体験プログラムを地元団体の協力のもと8コース増設した。引き続き、トンボ学校を始めとする季節に応じたイベントの開催を行う他、とんぼランドをPRするなど王越町の魅力の発信や王越地区のにぎわいの創出を図っていく。	-	3,208人	2,000人

(4) すべての人が活躍できる環境の整備

施策	KPI		第2期の達成状況			担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	第1期の実績値(参考)		
	指標名	当初値(H30)	R2実績	目標値(R6)	達成度(%) R2実績/目標値				当初値(H26)	R1実績	目標値(R1)
30	審議会等における女性委員の就任	審議会等における女性委員の割合	17.2%	18.4%	30%	61.3	人権課	平成26年度から微増ではあるが毎年度着実に増加している。平成30年度に一度減少したものの、令和元年度に複数の審議会にて女性委員の割合が増加した。令和2年度実績においては、前年度と比較し、3つの審議会にて女性委員の数が増加した一方で、5つの審議会にて減少し、再び女性委員の割合は減少した。 現在の総委員数348人に対する目標値(3割)は105人であり、41人不足している状況である。現状推移からは目標年度での達成は非常に厳しい状況である。 庁内各課が所管している審議会への女性委員の積極的増員について、各課に働きかけていく中、現状分析に基づく個別対策が必要である。	14.5%	18.2%	30%
31	管理職等への女性の登用	市の係長級以上の女性職員の割合	31.8%	33.3%	33%	100.9	職員課	令和2年度において目標値である33%を達成した。なお、令和3年4月1日時点における数値は32.8%となっている。 女性活躍推進法が平成28年4月1日施行となり、今後も能力が高く、実績ある女性を積極的に管理職等に登用し、係長級以上の女性職員の割合33%という数字を維持していく。	26.7%	31.4%	30%
32	女性消防団員の拡充	女性消防団員数	26名	26名	30名	86.7	消防本部	防災訓練や救急講習・外国人研修等において、女性消防団員のきめ細かな指導は常に好評を得ている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、講習・研修等が中止となるなど活動にも影響が出た。 現状に留まらず、活動の場を広げていくとともに勧誘活動も実施していく。 また、消防団活動の中で女性が実施することで効果が上がる活動について検討し、さらに活躍の場を増やしていく。	21名	26名	30名
33	日本語教室の開催	日本語教室の学習者数(人/年)	373人	158人	420人	37.6	秘書広報課	令和元年度の実績は460人で、目標値を達成したものの、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、日本語教室の定員数削減や4か月間の休止等の対策を行ったことや、学習者の外出控え等の理由により、当初値と比べて学習者数が半分以下となった。 新型コロナウイルス感染症の影響により、学習者数の減少はやむを得ないと考えが、日本語ボランティアと連携して、既存の学習者への日本語教室の開催・休止や生活に関する情報を提供しつつ、在住外国人や日本語ボランティア希望者への広報・周知を行い、新規学習者の掘り起こしや日本語ボランティアの確保に努めていく。			